

# 日本天文学会 1991 年 春季年会 プログラム

月 日 1991 年 5 月 14 日 (火) ~ 17 日 (金)

(第 1 日目は午前 9 時 45 分より; 第 2 日目以降は午前 9 時 30 分より)

場 所 東京大学 山上会館 (A 会場), 安田講堂 (B 会場) 〒113 東京都文京区本郷 7-3-1  
電話 03-3818-3008 (直通のみ)

月 日	会場	午 前				午 後							講演 番号
		9 9:45	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	
5 月 14 日 (火)	A	×	太陽系			太陽, 我々の銀河				×			A 1-41
	B	×	恒星		×	恒星				公開講演会		B 1-42	
5 月 15 日 (水)	A	×	星間現象		評 議 員 会	星間現象				×		A 42-85	
	B	×	恒星			恒星				×		B 43-87	
5 月 16 日 (木)	A	×	銀河・銀河団		×	銀河・銀河団	ポ ス タ ー セ ッ シ ョ ン	総 会	×	懇親会		A 86-117	
	B	×	観測機器・ 情報処理			観測機器・ 情報処理		×	×			B 88-119	
5 月 17 日 (金)	A	×	銀河・銀河団		理新 旧合 事同 会	宇宙論				×		A 118-155	
	B	×	観測機器・ 情報処理			観測機器・ 情報処理	位置 天文	天体 力学		×		B 120-157	

A 会場: 山上会館 2 階大会議室    B 会場: 安田講堂    ×: 使用しない時間帯

1. 会期は 4 日間で, 第 1 日目 (5 月 14 日 (火)) は, 午前 9 時 45 分から, 第 2 ~ 4 日目は午前 9 時 30 分からとなります。昼食時以外の休憩は, 1 日目, 2 日目, 4 日目の午後に 1 回づつとることにしました。
2. 講演割当時間は 7 分です。
3. ポスターセッションの発表は, 2 階会議室で行います。このセッションへの参加数は 33 で, 該当する方へは案内書を送りました。なお第 3 日目午後 3 時 30 分からポスター講演のためのディスカッション用時間帯を設けました。
4. Post-deadline papers はポスター発表とさせていただきます。
5. スライドは透視した時に正しい上下関係になるようにして, その手前側上方に講演番号と氏名, 映写順の番号を書き, 下縁に 5 mm 位の赤線をつけて下さい。ビラは用いず, スライドまたはオーバーヘッドプロジェクターをご利用下さい。
6. 懇親会は, 第 3 日目, 午後 6 時から山上会館で行います。
7. 公開講演会を第 1 日目午後 6 時から安田講堂で開催します。  
 講師 (演題): 佐藤勝彦氏 (宇宙はいかに生れたか)  
 " : 岡村定矩氏 (宇宙の構造を探る)

◎総会予告

5 月 16 日午後 4 時より平成 3 年度定期総会を開催します。会場は山上会館 2 階大会議室 (A 会場) です。主な内容は, 天体発見賞・研究奨励賞の贈呈案, 平成 2 年度会務・会計報告, 会計監査報告, 平成 3 年度予算案, 新役員候補案などです。

## 会場 A (山上会館)

## 第1日 5月14日(火) 午前9時45分より 会場 A

- A 1 MU レーダーによる流星観測モードの開発: 中村卓司, 堤 雅基, 津田敏隆, 深尾昌一郎, 加藤 進 (京大超高層)
- A 2 MU レーダーによる流星群の輻射点マッピング: 渡部潤一<sup>1</sup>, 中村卓司<sup>2</sup>, 津田敏隆<sup>2</sup>, 堤 雅基<sup>2</sup>, 宮下暁彦<sup>1</sup>, 吉川 真<sup>1</sup> (<sup>1</sup>国立天文台, <sup>2</sup>京大超高層)
- A 3 Cosmo-DICE: 彗星の力学進化解析プロジェクト: 中村 士 (国立天文台), 吉川 真 (東大理)
- A 4 短周期彗星の光度減少: 香西洋樹 (国立天文台)
- A 5 レビー彗星の C<sub>2</sub> 分子撮像観測: 鈴木文二 (越ヶ谷高), 栗原 浩 (神奈川工高), 縣 秀彦, 清水 実 (駿台学園), 渡部潤一, 中村 士 (国立天文台)
- A 6 オースチン彗星の 3.4 μm 赤外線バンド構造の検出: 水谷耕平, 長田哲也, 周藤浩士, 舞原俊憲 (京大理), 山本哲生 (宇宙研)
- A 7 オースチン彗星磁気圏の大規模擾乱を励起した太陽風構造: 小塚幸央, 斎藤尚生 (東北大理), 沼澤茂美 (JPL), I. Konno (SRI, Texas)
- A 8 小惑星どうしの“ニアミス”現象: 吉川 真 (東大理)
- A 9 Pourous Grains に働く放射圧: 向井 正 (神戸大理), 向井苑生 (金沢工大)
- A 10 1990年の火星南極冠の縮小: 岩崎恭輔 (京都学園大), 斉藤良一, 中井善寛 (花山天文台), 赤羽徳英 (飛驒天文台), E. Panjaitan, I. Radiman, S. D. Wiramihardja (Bosscha Observatory)
- A 11 ミリ波による木星輝度温度分布の予想: 長谷川 均 (アステック), 田部一志 (五藤光学研究所), 志村昭典 (小池国際特許事務所)
- A 12 起伏底面大気による輻射の拡散反射: 上野季夫 (京都コンピュータ学院)
- A 13 N 体計算による微惑星集団の速度分布と Dynamical Friction: 井田 茂 (東大教養)
- A 14 微惑星の衝突破壊過程: 渡邊誠一郎 (山形大理), 観山正見 (国立天文台)
- A 15 水惑星での地球型生命発生の必然性: 清水幹夫, 長谷川典巳, 姫野俵太, 田村浩二, 朝原治一 (宇宙研)

## 第1日 5月14日(火) 午後1時より 会場 A

- A 16 1989年における黒点の自転速度: 鈴木美好 (三重県立川越高), 久保田 諄 (京大花山天文台)
- A 17 逆 polarity の黒点の境界領域における速度場について: 當村一朗 (大阪府立高専), 川上新吾 (大阪市立科学館), 北井礼三郎, 黒河宏企 (京大理・飛驒天文台)
- A 18 モヒカン刈りコロナ面の回転反転: 斎藤尚生, 小塚幸央, 高橋忠利 (東北大理), 赤祖父俊一 (アラスカ大地球研)
- A 19 太陽フレア望遠鏡プロジェクト I: 桜井 隆, 日江井栄二郎, 一本 潔, 末松芳法, 今井英樹, 入江 誠, 熊谷収可, 篠田一也, 田中伸幸, 西野洋平, 福島英雄, 宮下正邦 (国立天文台), マスプル・アイニ, 房 耕 (東大理)
- A 20 ひのとりによる太陽フレアの軟X線スペクトル観測: 増田 智, 小杉健郎, 常田佐久 (東大理), 新田就亮 (ロッキード)
- A 21 太陽フレアからのX線スペクトルと高速電子成分: 加藤隆子, 政井邦昭 (核融合研)
- A 22 主要なフレア輝線の red asymmetry の比較: 小路真木子 (京大理), 黒河宏企 (飛驒天文台)
- A 23 硬X線源のモデル——磁気中性面カループか: 大木健一郎 (国立天文台)
- A 24 コロナ磁気ループの加熱に伴う熱伝導で生ずるプラズマ波とフレア: 高倉達雄
- A 25 微細磁場構造と小規模活動現象: 秋岡眞樹, 黒河宏企, 船越康宏, 北井礼三郎, 中井善寛 (京大理天文台), Ai Guoxiang, Zhang Hongqui (北京天文台)
- A 26 浮上磁場の3次元 MHD モデル: 柴田一成 (愛知教育大), 松元亮治 (千葉大)
- A 27 磁気シートの分裂と捻れた磁束管の形成 II: 野沢 恵, 柴田一成 (愛知教育大), 鷺見治一 (名大 STE 研), 松元亮治 (千葉大)
- A 28 非線形ダイナモ方程式の境界層解: 武田英徳, 高橋敏貴, 桜井健郎 (京大工)

## 休 憩

- A 29 5分振動とスピキュールの発生について IV: 竹内彰継, 木村敏郎 (米子高専), 末松芳法 (国立天文台)
- A 30 太陽振動の励起機構: 対流からの音波発生について: 尾崎洋二, 柴橋博資 (東大理)
- A 31 Simulation of Thermally Driven Convection with Perpendicular Gravitational Gradient: A. Mcallister (Univ. of Tokyo)
- A 32 逆問題の数値解法: Modified Singular Value Decomposition: 柴橋博資 (東大理), 関井 隆 (Cambridge 大), Per Christian Hansen (UNI・C)
- A 33 太陽活動に伴う太陽固有振動数の長期変化と太陽構造 II: 西沢 隆, 柴橋博資 (東大理)

## 会場 B (安田講堂)

## 第 1 日 5 月 14 日 (火) 午前 9 時 45 分より 会場 B

- B 1 KNIFE (鹿島-野辺山干渉計) の成果: VLBI による  $\mu$ Cep の SiO メーザー観測: 三好 真<sup>1</sup>, 高羽 浩<sup>2</sup>, 松本欣也<sup>3</sup>, 川口則幸<sup>3</sup>, 宮沢敬輔<sup>3</sup>, 小林秀行<sup>3</sup>, 亀野誠二<sup>1</sup>, 岩田隆浩<sup>3</sup>, 高橋幸雄<sup>3</sup>, 安田 茂<sup>7</sup>, 藤沢健太<sup>1</sup>, 浮田信治<sup>3</sup>, 井上 允<sup>3</sup>, 宮地竹史<sup>3</sup>, 御子柴 廣<sup>3</sup>, 近田義広<sup>3</sup>, 森本雅樹<sup>3</sup>, 笹尾哲夫<sup>4</sup> (<sup>1</sup>東大理, <sup>2</sup>通信総研鹿島, <sup>3</sup>国立天文台野辺山, <sup>4</sup>国立天文台水沢, <sup>5</sup>宇宙研, <sup>6</sup>電通大, <sup>7</sup>東北大)
- B 2 S 型星 R Gem の FeH 分子同定: 因 佳代, 平井正則 (福岡教育大)
- B 3 VV Cep の禁制線領域 (II): 川畑周作 (京都学園大), 齊藤 衛 (京大理)
- B 4 Linear Pulsation Characteristics of Mira Variable Stars: M. Y. Rahimi-Ardabili
- B 5 Line Profile Variations in Pulsating Yellow Supergiants: Zalewski Jan (東北大)
- B 6 AX Per の食現象: 加藤太一, 平田龍幸 (京大理)
- B 7 CFHT フーリエ分光器による共生星, V 1329 Cyg の近赤外分光: 田村眞一<sup>1</sup>, S. Bensammar<sup>2</sup>, J. P. Maillard<sup>3</sup> (<sup>1</sup>東北大, <sup>2</sup>Obs. de Paris, <sup>3</sup>Inst. d'Astrophys. de Paris)
- B 8 恒星磁場によるスペクトル線増強効果: 竹田洋一 (東大理)
- B 9 赤色巨星における SiO 分子の FTS 高分解能赤外スペクトル: 辻 隆 (東大理)
- B 10 半分離連星の異常重力減光の解釈: 木口勝義, 海野和三郎 (近畿大), 北村正利 (東大)
- B 11 The Rosseland Mean Free-Free Gaunt Factor of the Dense High-Temperature Stellar Plasma: 武藤晴彦, 桑島史欣, 市橋宏基, 伊藤直紀 (上智大理工)
- B 12 Be 星  $\zeta$  Tau の分光解析 I. 1976-81 年期の変動について: 小暮智一 (京大), 鈴木雅一 (金沢工大), 門正博 (京大理), M. Singh (Uttar Pradesh State Observatory, India)
- B 13 Be 星の偏光観測 I. 目的と要約: 平田龍幸, カチフ・クンジャヤ (京大理)
- B 14 Be 星  $\phi$  Per の分光解析: 門 正博 (京大理), 鈴木雅一 (金沢工大), 小暮智一 (京大), M. Singh (Uttar Pradesh State Observatory, India)

## 第 1 日 5 月 14 日 (火) 午後 1 時より 会場 B

- B 15 Be 星  $\gamma$  Cas の吸収線輪郭変動: 洞口俊博, 平田龍幸, 小暮智一 (京大理)
- B 16 Be 星の非動径振動による角運動量輸送: 李 宇珉 (東大理), 斉尾英行 (東北大)
- B 17 炭素星 IRC+10216 での硫化物の存在量: 高野秀路, 斎藤修二, 山本 智 (名大理), 辻 隆 (東大理), 大石雅寿, 川口建太郎, 石川晋一 (国立天文台野辺山), 海部宣男 (国立天文台)
- B 18 RZ Cas の主極小の光電測光: 山口美帆, 水野孝雄, 下田真弘, 泉浦秀行 (東京学芸大)
- B 19 ZZ Psc の測光観測 (II): 西城恵一 (国立科学博物館), 佐藤英男 (東大理), 中田好一 (東大理)
- B 20 シリウスの重金属量: 定金晃三 (大阪教育大)
- B 21 早期型超巨星の線輪郭変化と質量放出現象: 神戸栄治 (国立天文台・東大理), 安藤裕康 (国立天文台), 平田龍幸 (京大理)
- B 22 Elemental Diffusion and Mixing in Classical Novae: 藤本正行 (新潟大教育), Icko Iben, Jr. (Illinois 大), Jim MacDonald (Delaware 大)
- B 23 早期型星の線輻射圧と質量放出現象: 嶋田理博, 伊藤昌樹, 洞口俊博, 平田龍幸 (京大理)
- B 24 質量放出を伴った炭素星の系列: 野口邦男 (名大理), J. Sun, G. Wang (北京天文台)
- B 25 エネルギーの符号が異なる 2 つの音波の非線型相互作用: 加藤正二, 中山薫二 (京大理)
- B 26 Cold Super-fast MHD Wind における磁場形状の効果: 高橋真聡 (名大理)
- B 27 X 線新星 GS 1124-68: 滝沢 守, 田中靖郎, 堂谷忠靖 (宇宙研), 他「ぎんが」チーム
- B 28 アダマール望遠鏡による X 線天体の撮像: 矢治健太郎, 戎崎俊一, 奥村幸子, 牧野淳一郎 (東大教養), 北本俊二 (阪大理)

## 休 憩

- B 29 Unified Fitting Model of Variable X-ray Binary Cyg X-3: 中村 浩 (埼玉大・理研), 松岡 勝, 河合誠之, 吉田篤正 (理研), 三好 蕃 (京都産大), 北本俊二 (阪大)
- B 30 X 1820-30 の連星周期の変化: 堂谷忠靖 (宇宙研), 他「ぎんが」チーム
- B 31 X 1850-087 (NGC 6712) からの X 線エネルギースペクトルと時間変動: 北本俊二, 常深 博 (阪大理), Diane Roussel-Dupre (LANL)
- B 32 X 線連星 SMC X-1 における可視域光度曲線解析: 浅井和美, 川端 潔 (東京理大理)

## 会場 A (山上会館)

- A34 高密度水素プラズマ中不純物の電離度: 一丸節夫, 家富 洋, 尾形修司 (東大理)  
 A35 EVS 時間相似解における角速度分布: 桜井健郎 (京大工)  
 A36 CygX 領域の近赤外サーベイ: 伊藤昌尚, 笠羽康正, 上野宗孝, 佐藤修二 (国立天文台), 市川 隆 (一橋大)  
 A37 球状星団系の力学的進化: 岡崎 匡, 土佐 誠 (東北大理)  
 A38 Gravo-thermal Oscillation に対する連星の確率的なふるまいの影響: 高橋広治, 稲垣省五 (京大理)  
 A39 銀河系のランダム磁場構造: 大野 寛, 柴田晋平 (山形大理)  
 A40 Global Structure of the Galaxy: 山縣朋彦, 吉井 讓 (国立天文台)  
 A41 局部銀河群の進化と高速度ガス雲の起源について II: 上村左知子, 土佐 誠 (東北大理)

## 第2日 5月15日(水) 午前9時30分より 会場 A

- A42 直線炭素鎖分子  $H_2CCCC$  と  $H_2CCC$ : 海部宜男<sup>1</sup>, 川口建太郎<sup>1</sup>, 大石雅寿<sup>1</sup>, 平原靖大<sup>2</sup>, 石川晋一<sup>1</sup>, 山本智<sup>3</sup>, 齋藤修二<sup>4</sup>, 高野秀路<sup>3</sup>, 村上明徳<sup>5</sup> (<sup>1</sup>国立天文台, <sup>2</sup>東大理, <sup>3</sup>名大理, <sup>4</sup>分子化学研, <sup>5</sup>三菱化成)  
 A43 再び星間  $C_2H$  ラジカルの探査について: 齋藤修二, 山本智, 高野秀路 (名大理), 川口建太郎, 大石雅寿, 鈴木博子, 石川晋一 (国立天文台野辺山), 海部宜男 (国立天文台)  
 A44 暗黒星雲 TMC-1 での SO,  $HN_2^+$  の分布: 平原靖大, 増田彰正 (東大理), 山本 智 (名大理), 海部宜男 (国立天文台), 川口建太郎, 石川晋一, 大石雅寿 (国立天文台野辺山)  
 A45 星間アンモニア分子の赤外光励起——振動励起状態の反転遷移——: 川口建太郎, 大石雅寿, 石川晋一 (国立天文台野辺山), 海部宜男 (国立天文台)  
 A46 分子流との相互作用による加熱: 梅本智文<sup>1</sup>, 三上人巳<sup>2</sup>, 岩田隆浩<sup>3</sup>, 山本 智<sup>2</sup>, 福井康雄<sup>2</sup> (<sup>1</sup>国立天文台野辺山, <sup>2</sup>名大理, <sup>3</sup>通信総研)  
 A47 分子流との相互作用領域における SiO と  $CH_3OH$  の増加: 三上人巳<sup>1</sup>, 梅本智文<sup>2</sup>, 山本 智<sup>1</sup>, 齋藤修二<sup>1</sup> (<sup>1</sup>名大理, <sup>2</sup>国立天文台野辺山)  
 A48 星間分子形成の密度・温度依存性: 梅林豊治 (山形大理)  
 A49 暗黒星雲コアの化学進化: 山本 智 (名大理), 大石雅寿 (国立天文台野辺山), 海部宜男 (国立天文台)  
 A50 分子雲コアの unbiased survey: 福井康雄, 水野 亮, 今岡啓治, 長濱智生, 土橋一仁, 手嶋芳徳, 藁島義昭, 小川英夫, 河鏞昭 (名大理)  
 A51 おうし座領域の  $C^{18}O$  広域観測: 水野 亮, 長濱智生, 今岡啓治, 小川英夫, 福井康雄 (名大理)  
 A52 IC 5146 近傍の分子雲—— $^{12}CO$  ( $J=1-0$ ),  $^{13}CO$  ( $J=1-0$ ) 輝線による観測——: 土橋一仁, 水野 亮, 今岡啓治, 長濱智生, 小川英夫, 福井康雄 (名大理)  
 A53 ケフェウス・フレアの暗黒星雲の CO 線観測: 佐藤文男 (東京学芸大), 福井康雄 (名大理)  
 A54 45 m 鏡によるオリオン座分子雲サーベイ (III): 立松健一<sup>1</sup>, 梅本智文<sup>1</sup>, 亀谷 收<sup>1</sup>, 平野尚美<sup>1</sup>, 長谷川哲夫<sup>2</sup>, 林 正彦<sup>3</sup>, 岩田隆浩<sup>3</sup>, 海部宜男<sup>4</sup>, 三上人巳<sup>5</sup>, 村田泰宏<sup>6</sup>, 仲野 誠<sup>7</sup>, 中野武宜<sup>1</sup>, 大橋永芳<sup>1,5</sup>, 砂田和良<sup>2</sup>, 高羽 浩<sup>3</sup>, 山本 智<sup>5</sup> (<sup>1</sup>国立天文台野辺山, <sup>2</sup>東大理, <sup>3</sup>通信総研, <sup>4</sup>国立天文台, <sup>5</sup>名大理, <sup>6</sup>大分大教育)  
 A55 45 m 鏡によるオリオン座分子雲サーベイ (IV): 平野尚美<sup>1</sup>, 梅本智文<sup>1</sup>, 立松健一<sup>1</sup>, 亀谷 收<sup>2</sup>, 長谷川哲夫<sup>3</sup>, 林 正彦<sup>3</sup>, 岩田隆浩<sup>4</sup>, 海部宜男<sup>5</sup>, 三上人巳<sup>6</sup>, 村田泰宏<sup>6</sup>, 仲野 誠<sup>7</sup>, 中野武宜<sup>1</sup>, 大橋永芳<sup>1,5</sup>, 砂田和良<sup>2</sup>, 高羽 浩<sup>4</sup>, 山本 智<sup>3</sup> (<sup>1</sup>国立天文台野辺山, <sup>2</sup>国立天文台水沢, <sup>3</sup>東大理, <sup>4</sup>通信総研, <sup>5</sup>国立天文台, <sup>6</sup>名大理, <sup>7</sup>大分大教育)  
 A56 S156 巨大分子雲の速度構造: 亀谷 收, 平野尚美, 梅本智文 (国立天文台野辺山)  
 A57 Cocoon Stars (NGC 7538-IRS 1 のミリ波コア): 赤羽賢司<sup>1</sup>, 川辺良平<sup>2</sup>, 大橋永芳<sup>2</sup>, 亀谷 收<sup>2</sup>, 石黒正人<sup>2</sup>, 祖父江義明<sup>3</sup> (<sup>1</sup>富山大理, <sup>2</sup>国立天文台野辺山, <sup>3</sup>東大理)

## 第2日 5月15日(水) 午後1時より 会場 A

- A58 ハービッグ・ハロー天体の分光データの解析 (2) オリオン領域: 小倉勝男 (国学院大)  
 A59 Dynamics and Excitation of Herbig-Haro Flows: 林 左絵子 (国立天文台)  
 A60 NMA による GL 490 の CS (2-1) 観測: 原始星へのガス降着: 中村昭子<sup>1</sup>, 川辺良平<sup>2</sup>, 北村良史<sup>3</sup>, 大橋永芳<sup>2</sup>, 石黒正人<sup>2</sup> (<sup>1</sup>京大理, <sup>2</sup>国立天文台野辺山, <sup>3</sup>鹿児島大)  
 A61 ミリ波干渉計によるおうし座分子雲赤外線線の 98 GHz 連続波, CS ( $J=2-1$ ) 観測 (III)——原始惑星系星雲の

## 会場 B (安田講堂)

- B33 「ぎんが」による X 1916-05 の観測: 吉田健二, 井上 一 (宇宙研), J. E. Grindlay (CFA), J. H. Swank (GSFC), 他「ぎんが」チーム
- B34 X線パルサー GS 0834-430 と X線バースター GS 0836-429 の発見: 青木貴史, 伊藤真之, 竹島敏明, 堂谷忠靖, 榎野文命, 長瀬文昭 (宇宙研), 三原建弘 (東大理), 北本俊二 (阪大理), 他「ぎんが」チーム
- B35 MSH 15-52 中のパルサーの X線観測 (III): 河合誠之 (理研), 岡保利佳子 (埼玉大・理研), R. Manchester (CSIRO), 他
- B36 X線連星パルサー X 0115+638 からの X線アウトバーストの観測: 田村啓輔, 常深 博, 北本俊二, 林田 清 (阪大理)
- B37 暗黒星雲 Lynds 1457 と X線パルサー: 鎌田祐一, 田原 護 (名大理), 小山勝二 (京大理)
- B38 X線パルサーの磁場は Decay するか: 三原建弘, 牧島一夫, 上條俊介, 大橋隆哉 (東大理), 長瀬文昭, 田中靖郎 (宇宙研), ほか「ぎんが」チーム
- B39 パルサーの制動指数と磁気圏の進化: 柴田晋平 (山形大理)
- B40 Cep X-4 のサイクロトロン共鳴構造: 上條俊介, 牧島一夫, 三原建弘 (東大理), 他「ぎんが」チーム
- B41 S帯での銀河中心パルサーの検出実験: 平林 久, 平尾淳一 (宇宙研), 藤沢健太 (東大理)
- B42 パルサーの磁場の進化のシミュレーション: 匹田 篤, 若月滋人, 伊藤直紀 (上智大理工)

## 第2日 5月15日 (水) 午前9時30分より 会場 B

- B43 GX 339-4 の時間変動について: 伊賀小弓里, 宮本重徳, 北本俊二 (阪大理)
- B44 「ぎんが」による強磁場白色矮星の観測: 石田 学, 牧島一夫 (東大理), M. G. Watson, J. Osborne (Leicester 大)
- B45 新星型ブラックホール候補: 田中靖郎, 井上 一 (宇宙研), 他「ぎんが」チーム
- B46 Cyg X-1 からの X線の時間変動: 根来 均, 宮本重徳, 北本俊二 (阪大理)
- B47 3C 390.3 観測中に発見された X線フレアイベント: 林田 清 (阪大理), 印田美香, 田代 信, 牧島一夫, 大橋隆哉, 鶴 剛 (東大理), 他「ぎんが」チーム
- B48 X線新星 GS 2023+338 からの X線の星間塵による散乱成分: 寺田健太郎, 宮本重徳, 北本俊二 (阪大理)
- B49 ブラックホール候補天体のエネルギースペクトル: 満田和久, 海老沢 研, 井上 一 (宇宙研), ほか「ぎんが」チーム
- B50 ガンマ線バースト源の空間分布: 小賀坂康志, 村上敏夫, 西村 純 (宇宙研), 吉田篤正 (理研), Edward E. Fenimore (ロス・アラモス国立研), 他「ぎんが」GBD チーム
- B51 ガンマ線バーストとその繰り返し頻度: 村上敏夫, 小賀坂康志 (宇宙研), 吉田篤正 (理研), ぎんが GBD 班
- B52 ガンマ線バーストのサイクロトロン線: 西村 治, 戎崎俊一 (東大教養)
- B53 内部摩擦熱を考慮した中性子星の熱的進化: 柴崎徳明 (立教大理), 梅田秀之 (モンタナ州立大), 野本憲一 (東大理), 鶴田幸子 (モンタナ州立大)
- B54 中性子星の熱的・力学的不安定性: 望月優子, 柴崎徳明 (立教大理)
- B55 Super-critical Accretion onto a General Relativistic Neutron Star (II): 矢吹富美子 (都立大理), 蓬茨靈運 (立教大理)
- B56 中性子星磁場生成に対する拘束条件: 矢部 孝 (群大工), 柴崎徳明 (立教大理), 花見仁史 (岩手大人文)
- B57 高密度水素プラズマの核磁気強磁性転移: 尾形修司, 家富 洋, 一丸節夫 (東大理)
- B58 高密度星内クーロン物質の量子融解: 家富 洋, 尾形修司, 一丸節夫 (東大理)

## 第2日 5月15日 (水) 午後1時より 会場 B

- B59 LMC 中の Leavitt 変光星の線形非断熱模型: 石田俊人 (東北大理)
- B60 Post-AGB 変光星の流体力学的脈動模型 (2): 相川利樹 (東北学院大)
- B61 回転ポルトロープの安定性 (III): 江里口良治 (東大教養), 蜂巢 泉 (京大工)
- B62 MHD winds—電気伝導度を有限にしたモデル: 工藤哲洋, 錦木 修 (東北大理)
- B63 Binary Pulsar の生成起源: 山岡 均, 茂山俊和, 野本憲一 (東大理)

## 会場 A (山上会館)

形成——: 大橋永寿<sup>1</sup>, 川辺良平<sup>1</sup>, 林 正彦<sup>2</sup>, 石黒正人<sup>1</sup> (<sup>1</sup>国立天文台野辺山, <sup>2</sup>東大理)

- A62 FUオリオン型変光星における水蒸気の検出: 佐藤修二, 沖田喜一, 山下卓也 (国立天文台), 水谷耕平 (京大理), 斯波尚志, 小林行泰 (東大理), 高見英樹 (通信総研)
- A63 形成中の星の磁気圏と磁気降着円盤の相互作用 2: 広瀬重信, 内田 豊 (東大理), 柴田一成 (愛知教育大), 松本亮治 (千葉大教養), 佐藤哲也 (核融合研)
- A64 回転する磁気雲の Collapse と Outflow I: 藤堂 泰, 濱武久司, 内田 豊 (東大理)
- A65 オリオン分子雲の広視野高分解能観測 (II): 村田泰宏, 川辺良平, 石黒正人, 森田耕一郎, 春日 隆 (国立天文台野辺山), 長谷川哲夫, 林 正彦 (東大理)
- A66 オリオン分子雲 CO (J=2-1) 大規模サーベイ (2): 阪本成一, 長谷川哲夫, 林 正彦, 半田利弘, 岡 朋治, 望月賢治 (東大理)
- A67 東大-NRO 60 cm 望遠鏡による銀河中心領域の CO (J=2-1) 輝線広域観測: 岡 朋治, 長谷川哲夫, 林 正彦, 半田利弘, 阪本成一, 望月賢治 (東大理)
- A68 CO (J=2-1) による銀河面サーベイ: 林 正彦, 長谷川哲夫, 半田利弘, 阪本成一, 望月賢司, 岡 朋治 (東大理)
- A69 銀河中心方向の近赤外線源 #17 の分光観測: 長田哲也 (京大理)
- A70 銀河中心近傍の星生成領域 GC #17—CS (J=1-0) による高空間分解観測——: 小林尚人, 長田哲也 (京大理), 川辺良平, 坪井昌人 (国立天文台野辺山), 小林行泰 (東大理)
- A71 High Resolution Imaging Observations of Infrared Cluster: AFG 2004: 上野宗孝 (国立天文台), 田村元秀 (JPL), J. Rayner, K. Hoddap (University of Hawaii)

## 休 憩

- A72 FTIR ビームスプリットアタッチメントを用いた輻射スペクトルの測定: 和田節子, 井上喜晴, 坂田 朗 (電通大)
- A73 急冷炭素質物質の蛍光輻射と反射星雲の広域赤色輻射: 坂田 朗, 成澤孝敏, 和田節子, 浅野洋一, 飯島 豊 (電通大), 尾中 敬 (東大理), A. T. Tokunaga (Univ. Hawaii)
- A74 回転楕円体状塵粒子による偏光 III. 散乱光における偏光: 松村雅文 (大阪市立科学館・香川大教育), 関 宗蔵 (東北大教養)
- A75 遠紫外銀河背景輻射の観測: 尾中 敬 (東大理), 小平桂一 (国立天文台)
- A76 高励起惑星状星雲, IC 351 の膨脹運動解析: 矢動丸 泰, 田村眞一 (東北大理)
- A77 乱流媒質中の衝撃波の伝播: 木村俊哉, 土佐 誠 (東北大理)
- A78 減速等温ガス層の自己重力不安定性と星形成 (II): 吉田龍生, 羽部朝男 (北大理)
- A79 光解離領域でのイオン密度と星形成 II: 中野武宣 (国立天文台野辺山), 山本 智, 福井康雄 (名大理)
- A80 “氷”の外層を持つ grain が存在する星間雲における磁場の散逸: 西 亮一 (京大理), 中野武宣 (国立天文台野辺山), 梅林豊治 (山形大理)
- A81 銀河ガス円盤の安定性: 花輪知幸, 中村文隆 (名大理), 中野武宣 (国立天文台野辺山)
- A82 フィラメント状ガス雲のパーカー=ジーンズ不安定性: 中村文隆, 花輪知幸 (名大理), 中野武宣 (国立天文台野辺山)
- A83 パーカー不安定性によるスーパー構造の形成: 松元亮治 (千葉大教養), 柴田一成 (愛知教育大)
- A84 階層性の伴なう星間物質の構造解析: 花見仁史 (岩手大人社)
- A85 斜め衝撃波による粒子加速: 高原文郎 (都立大理), 寺沢敏夫 (京大理)

## 第3日 5月16日(木) 午前9時30分より 会場 A

- A86 M 82 の回転について: 祖父江義明 (東大理), H. P. Reuter, M. Krause, R. Wielebinski (MPIfR), 中井直正 (国立天文台野辺山)
- A87 molecular superclouds の質量関数: 濤崎智佳<sup>1</sup>, 川辺良平<sup>2</sup>, 石黒正人<sup>2</sup>, 森田耕一郎<sup>2</sup>, 石附澄夫<sup>3</sup>, 塩谷泰広<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東北大理, <sup>2</sup>国立天文台野辺山, <sup>3</sup>東大理)
- A88 矮小不規則銀河 IC 10 内の分子雲の干渉計観測: 太田耕司, 佐々木実, 山田 亨, 齋藤 衛 (京大理), 中井直正 (国立天文台野辺山)
- A89 Arp 220 の 1.5" 分解能 CO 観測: 半径 400 pc 中心核ガス円盤: 川辺良平<sup>1</sup>, 奥村幸子<sup>2</sup>, 石黒正人<sup>1</sup>, 石附澄夫<sup>3</sup> (<sup>1</sup>国立天文台野辺山, <sup>2</sup>東大教養, <sup>3</sup>東大理)
- A90 セイファート銀河の中心の数百パーセクに集中している分子ガス: 石附澄夫<sup>1</sup>, 川辺良平<sup>2</sup>, 谷口義明<sup>3</sup>, 石黒正人<sup>2</sup> (<sup>1</sup>東大理, <sup>2</sup>国立天文台野辺山, <sup>3</sup>東北大理)
- A91 セイファート銀河 NGC 1068 の波長 4.7  $\mu\text{m}$  の観測: 綾仁一哉 (国立天文台), 中川貴雄 (宇宙研), 長田哲也 (京大理)

## 会場 B (安田講堂)

- B64 白色矮星が重力崩壊する条件: 野本憲一 (東大理), 近藤陽次 (NASA/GSFC)  
 B65 超新星 1987A の光度曲線の傾きの変化: 熊谷紫麻見, 茂山俊和, 野本憲一 (東大理), 橋本正章 (九大教養)  
 B66 40 倍太陽質量星の超新星への進化: 橋本正章 (九大教養), 野本憲一 (東大理)  
 B67 自転する星のコアの重力崩壊: 山田章一, 佐藤勝彦 (東大理)  
 B68 爆発シエルの不安定性の波数解析: 山田良透 (京大理)  
 B69 Supernova Ejecta と Circumstellar Ring の衝突: 鈴木知治<sup>1</sup>, 茂山俊和<sup>2</sup>, 野本憲一<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東大理, <sup>2</sup>Max-Planck-Institut für Astrophysik)  
 B70 超新星爆発時の R-T 不安定性の三次元効果: 星野英昭, 矢部 孝 (群大工)  
 B71 わい新星 QPO に対する動径振動モデル: 奥田 亨, 小野和重, 田畑 真 (北教大函館), 嶺重 慎 (茨城大理)  
 B72 Cir X-1 からの QPO: 牧野至洋, 北本俊二, 宮本重徳 (阪大理)  
 B73 自己重力円盤中の非軸対称波の過剰反射: 中川義次 (東大理), 関谷 実 (帝京大理工)

## 休 憩

- B74 薄く幅広い非自己重力ガス円盤の安定性: 関谷 実 (帝京大理工)  
 B75 One-Armed Adiabatic Oscillations in Polytopic Disks: 岡崎敦男 (北海学園大教養)  
 B76 Self-Similar Disk Winds (II): 岡田理佳, 高原文部 (都立大)  
 B77 近接連星系における降着円盤の 2 次元数値実験: 廣瀬雅人, 市川 晋, 尾崎洋二 (東大理)  
 B78 高速回転するトロイド星の構造と核反応: Ewald Mueller (マックス・プランク研究所), 江里口良治 (東大教養), 荒井賢三 (熊大理), 橋本正章 (九大教養)  
 B79 一般相対論的回転流体の力学的不安定性: 中山薫二 (京大理), 花輪知幸 (名大理)  
 B80 近接連星系における宇宙ジェットの発生機構: 長澤幹夫 (計算流体研)  
 B81 矮新星 SU UMa 型の Superoutburst の数値実験: 市川 晋, 廣瀬雅人, 尾崎洋二 (東大理)  
 B82 宇宙トラス—歳差に伴う光度曲線の変化: 福江純, 古久保 学 (大阪教育大)  
 B83 ブラックホール熱力学第三法則が成立するための条件について: 岡本 功 (国立天文台水沢), 鎗木 修 (東北大理)  
 B84 Kerr 状態の安定性に関する熱力学的考察: 鎗木 修 (東北大理), 岡本 功 (国立天文台水沢)  
 B85 KERR BLACK HOLE 磁気圏での非定常・非軸対称 MHD 流: 広谷幸一, 高橋真聡, 冨松 彰 (名大理)  
 B86 ブラックホール, 星のまわりの一般相対論的リング: 西田昌吾 (東大理), 江里口良治 (東大教養), A. Lanza (SISSA)  
 B87 回転重力場による量子力学的干渉: 葛西真寿, 黒岩丈介, 二間瀬敏史 (弘前大理)

## 第3日 5月16日(木) 午前9時30分より 会場 B

- B88 日伊 22 GHz 測地 VLBI 試験観測結果: 高橋幸雄, 木内 等, 栗原則幸, 金子明弘, 今江理人 (通信総研), R. Ambrosini (イタリア・ボローニャ大学)  
 B89 東海大 11 m アンテナによる VLBI 実験: 御子柴廣, 川口則幸, 宮地竹史 (国立天文台野辺山), 河野宣之 (九州東海大工), 吉山孝晴 (東海大宇宙情報センター), 藤下光身, 亀谷 収 (国立天文台水沢), 栗原則幸, 高橋幸雄, 木内 等 (通信総研鹿島)  
 B90 KNIFE (鹿島-野辺山干渉計) の成果-連続波源の 22/43 GHz 帯 VLBI 観測: 松本欣也 (電通大), 亀野誠二, 三好 真, 藤沢健太 (東大理), 高羽 浩, 高橋幸雄, 岩田隆浩 (通信総研鹿島), 川口則幸, 井上 允, 宮沢敬輔, 宮地竹史, 御子柴 廣, 浮田信治, 近田義広, 森本雅樹 (国立天文台野辺山), 笹尾哲夫 (国立天文台水沢), 安田 茂 (東北大)  
 B91 実験用冷却フロントエンドの製作: 阿部安宏, 電波天文グループ (日本通信機KK), 平林 久, 小林秀行 (宇宙研), 藤沢健太 (東大理)  
 B92 VSOP 観測シミュレーション (2): 小林秀行, 平林 久, 藤沢健太, 西村敏充 (宇宙研)

## 会場 A (山上会館)

- A92 OAO-SNG による 3C 120 の 3次元分光観測: 大谷 浩, 小杉城治, 吉田道利, 佐々木実, 馬場 歩, 佐々木敏由紀\*, 清水康宏\*, 小矢野 久\* (京大理, \*国立天文台岡山)
- A93 Obscured Quasar IRAS 23060+0505 の  $Pa\alpha$ ,  $Pa\beta$  の観測: 西田 稔 (京大理), 中島 紀, N. P. Carleton (Harvard-Smithsonian CfA)
- A94 鹿島-野辺山基線 VLBI による CSS の観測: 亀野誠二, 三好 真, 藤沢健太 (東大理), 松本欣也 (電通大), 井上 允, 川口則幸, 宮沢敬輔, 宮地竹史, 御子柴 廣, 浮田信治, 近田義広, 森本雅樹 (国立天文台野辺山), 南 仁東 (北京天文台), 高羽 浩, 高橋幸雄, 岩田隆浩 (通信総研鹿島), 笹尾哲夫 (国立天文台水沢), 安田茂 (東北大)
- A95 活動銀河核の高温ダスト: 小林行泰 (東大理), 佐藤修二, 山下卓也 (国立天文台), 斯波尚志 (東大理), 高見英樹 (通信総研)
- A96 KUG の追観測 (5) スターバーストの強度と化学組成: 前原英夫 (国立天文台), D. Kunth (パリ天体物理学研究所), G. Comte, R. Augarde (マルセイユ天文台), 浜部 勝 (東大理木曾)
- A97 電波銀河 3C 390.3 の「ぎんが」衛星による X線観測: 印田美香, 田代 信, 牧島一夫, 大橋隆哉 (東大理), 林田 清 (阪大理), 他「ぎんが」チーム
- A98 NGC 5548 の X線スペクトルの時間変動: 大谷知行, 榎野文命, 紀伊恒男 (宇宙研), 林田 清 (阪大理), K. Pounds (Leicester), 他「ぎんが」チーム
- A99 Narrow Line Radio Galaxy IC 5063 中の Obscured AGN: 小山勝二 (京大理), 岩澤一司, 粟木久光 (名大理), M. Ward (Oxford Univ.)
- A100 BL Lac 天体の X線スペクトルと変動の観測: 田代 信, 大橋隆哉, 牧島一夫, 印田美香, 香村芳樹 (東大理), 榎野文命, 紀伊恒男 (宇宙研), P. Barr (ESTEC), ほか「ぎんが」チーム
- A101 Blazars の電波と X線の同時期観測: 岡保利佳子 (埼玉大・理研), 田原博人, 加藤龍司 (宇都宮大教育), 井上 允 (国立天文台野辺山), 河合誠之 (理研), W. Brinkmann (M.P.E.)

## 第3日 5月16日(木) 午後1時より 会場 A

- A102 NGC 6814 の X線スペクトル: 山内 誠, 松岡 勝, 河合誠之 (理化研)
- A103 セイファート銀河からの鉄輝線: 粟木久光 (名大理), 小山勝二 (京大理), 井上 一 (宇宙研), J. P. Halpern (コロンビア大), 他「ぎんが」チーム
- A104 IRAS Selected Type-2 Seyferts の X線観測: 岩澤一司, 粟木久光 (名大理), 小山勝二 (京大理), 他「ぎんが」チーム
- A105 クェーサーの X線連続スペクトルの構造: 大橋隆哉, 牧島一夫 (東大理), 紀伊恒男, 榎野文命 (宇宙研), M. J. L. Turner, O. R. Williams (Leicester 大), 他「ぎんが」チーム
- A106 3C 279 の 1990-1991年 X線 Outburst: 紀伊恒男, 榎野文命, 大谷知行 (宇宙研), 大橋隆哉, 田代 信 (東大理), 林田 清 (阪大理), M. J. L. Turner, O. R. Williams (University of Leicester)
- A107 Poor Cluster の X線観測 I: 池辺 靖, 鶴 剛, 大橋隆哉, 牧島一夫 (東大理), 近藤秀治, 山下廣順 (宇宙研), 廿日出 勇 (宮崎大), G. Fabbiano, W. Forman (CfA)
- A108 Poor Cluster の X線観測 II——銀河から放出されるホットガス——: 鶴 剛, 池辺 靖, 大橋隆哉, 牧島一夫 (東大理), 廿日出 勇 (宮崎大), 山下廣順 (宇宙研)
- A109 X線背景放射の表面輝度の自己相関関数: 井上 一, 近藤秀治, 紀伊恒男, 田中靖郎, 堂谷忠靖, 満田和久 (宇宙研), 田原 謙 (名大理), 大橋隆哉 (東大理), G. C. Stewart (University of Leicester)
- A110 月掩蔽を用いた宇宙 X線背景放射の観測: 竹島敏明, 角掛 渉, 満田和久 (宇宙研)
- A111 円盤銀河における重元素の動径方向の勾配: 辻本拓司, 茂山俊和, 野本憲一 (東大理), 吉井 謙 (国立天文台), 斉尾英行 (東北大)
- A112 Local Supercluster における銀河の角運動量ベクトルの方向分布: 柏川伸成, 岡村定矩 (東大理)
- A113 新しい銀河サンプルに基づく Great Attractor 仮説の検証: 嶋作一夫, 岡村定矩 (東大理)
- A114 Great Wall の特異速度場: 市川 隆 (一橋大)
- A115 いっかくじゅう座超銀河団: 銀河面に隠された超銀河団の発見: 山田 亨, 斎藤 衛 (京大理)
- A116 Morphology of Distant Galaxies: 海野和三郎, 小山晃一 (近畿大), 大原荘司 (奈良産業大)
- A117 銀河の形態と光度関数: 長谷川 隆 (東大理), 梅村雅之 (国立天文台), 谷口義明 (東北大)



## 会場 B (安田講堂)

- B93 スペース VLBI 計画における相対論的効果: 細川瑞彦 (通信総研)
- B94 技術試験衛星 (ETS-VI) を用いたスペース VLBI 計画: 岩田隆浩, 小山泰弘, 高羽 浩, 高橋富士信 (通信総研)
- B95 野辺山 45 m 鏡の鏡面精度向上とアンテナ能率: 柴田克典, 梅本智文, 浮田信治, 鄭 玄洙, 中島 潔, 御子柴 廣, 石黒正人 (国立天文台野辺山), 島脇 豊, 出口博之, 増田剛徳, 蛭子井 貴, 岩崎孝志, 原田信夫 (三菱電機)
- B96 Phase Retrieval Holography 法による 45 m 鏡鏡面精度測定: 浮田信治, 柴田克典, 鄭 玄洙, 梅本智文, 御子柴 廣 (国立天文台野辺山)
- B97 45 m 鏡新宇宙電波観測システムの開発: 太田浩行 (富士通), 中井直正 (国立天文台野辺山), COSMOS 開発グループ
- B98 45 m 鏡新リダクションシステムの開発: 本間節夫, 瓦井健二 (富士通), NEW-STAR 開発チーム, 中井直正, 大石雅寿, 立松健一 (国立天文台野辺山), 平野尚美 (一橋大教養)
- B99 45 m 鏡及びミリ波干渉計の新追尾計算システム: 斎藤紀男, 太田浩行 (富士通), 中井直正, 森田耕一郎, 高橋敏一 (国立天文台野辺山)
- B100 45 m 鏡用 7 素子ポロメータアレイの性能: 松尾 宏 (国立天文台野辺山), 久野成夫 (東北大理), 水本好彦 (神戸大理)
- B101 150 GHz 7 素子ポロメータ・アレイの開発: 久野成夫 (東北大理), 松尾 宏, 中島 潔 (国立天文台野辺山), 水本好彦 (神戸大理)
- B102 115 GHz 用超伝導 SIS 素子: 坂本彰弘, 稲谷順司 (国立天文台野辺山)
- B103 雑音温度 17 K (DSB) の 110 GHz 帯 SIS 受信器: 小川英夫, 水野 亮, 今岡啓治, 長濱智生, 小泉和司, 福井康雄 (名大理)

## 第3日 5月16日 (木) 午後1時より 会場 B

- B104 野辺山とマウナケアでの電波シーイングの比較: 石黒正人, 神沢富雄, 春日 隆 (国立天文台野辺山), C. Masson (CFA)
- B105 バイスペクトルを使ったミリ波干渉計イメージング: 森田耕一郎 (国立天文台野辺山)
- B106 多周波像合成法のシミュレーション (1): 鈴木美都<sup>1</sup>, 石黒正人<sup>2</sup>, 森田耕一郎<sup>2</sup>, 川辺良平<sup>2</sup> (<sup>1</sup>東北大理, <sup>2</sup>国立天文台野辺山)
- B107 電波ヘリオグラフ進捗状況: 鰐目信三, 太陽電波グループ (国立天文台)
- B108 電波ヘリオグラフ進捗状況——アンテナ本体: 鷹野敏明<sup>1</sup>, 鳥居近吉, 篠原徳之, 甲斐敬造, 鰐目信三, 中島弘, 柴崎清登, 西尾正則<sup>1</sup>, 塩見靖彦, 沢 正樹, 関口英昭, 川島 進, 武士保健<sup>1</sup>, 入交芳久<sup>2</sup>, 花岡庸一郎 (国立天文台野辺山, <sup>1</sup>国立天文台豊川, <sup>2</sup>東大理)
- B109 電波ヘリオグラフ用アンテナ基準標の測量・据え付け: 篠原徳之, 電波ヘリオグラフグループ (国立天文台野辺山), 三島研二 (パスコ)
- B110 電波ヘリオグラフの位相較正シミュレーション: 花岡庸一郎, 柴崎清登, 電波ヘリオグラフグループ (国立天文台野辺山他)
- B111 新 4 メートル短ミリ波望遠鏡 III——光学性能, フロントエンド構成——: 今岡啓治, 長濱智生, 手嶋芳徳, 土橋一仁, 蓑島義昭, 水野 亮, 小川英夫, 福井康雄, 河鱈公昭 (名大理)
- B112 新 4 メートル短ミリ波望遠鏡 IV——指向精度——: 長濱智生, 今岡啓治, 手嶋芳徳, 土橋一仁, 蓑島義昭, 水野 亮, 小川英夫, 福井康雄, 河鱈公昭 (名大理)
- B113 60 cm サブミリ波望遠鏡 (6): 長谷川哲夫, 林 正彦, 半田利弘, 阪本成一, 望月賢治, 岡 朋治 (東大理)
- B114 60 cm 望遠鏡用の小型 AOS の製作: 望月賢治, 林 正彦, 長谷川哲夫, 半田利弘, 阪本成一, 岡 朋治 (東大理)
- B115 半導体レーザーを用いた小型 AOS の製作: 宮地竹史 (国立天文台野辺山)
- B116 2.4 mφ カセグレンアンテナの設計及び性能: 乙部英一郎, 中島潤一, 土屋 明, 渡辺直企 (早大理工), 法月惣次郎 (法月技研), 増田剛徳 (三菱電機), 大師堂経明 (早大教育)
- B117 早稲田 FFT 大型アレイのファーストプリンジ: 中島潤一<sup>1</sup>, 乙部英一郎<sup>2</sup>, 遊馬邦之<sup>2</sup>, 土屋 明<sup>1</sup>, 渡辺直企<sup>1</sup>, 法月惣次郎<sup>3</sup>, 岩瀬清一郎<sup>4</sup>, 西堀一彦<sup>4</sup>, 武蔵谷敏雄<sup>5</sup>, 星野哲夫<sup>5</sup>, 阿部安弘<sup>5</sup>, 大師堂経明<sup>6</sup> (<sup>1</sup>早大理工, <sup>2</sup>草加高校, <sup>3</sup>法月技研, <sup>4</sup>SONY, <sup>5</sup>日本通信機, <sup>6</sup>早大教育)
- B118 非エルゴートの信号電波源のリアルタイム結像・解析方式のアルゴリズム: 大師堂経明, 遊馬邦之, 中島潤一, 矢野素子, 乙部英一郎, 土屋 明, 渡辺直企, 小原啓義, 小松進一 (早大, 教育, 理工, 草加高), 岩瀬清一郎, 西堀一彦 (ソニー)
- B119 通信総研における高安定ミリ秒パルス観測: 阿部ゆう子, 今江理人, 木内等, 浜 真一 (通信総研鹿島)

## 会場 A (山上会館)

## 第4日 5月17日(金) 午前9時30分より 会場 A

- A118 回転ブラックホールへの磁気流体の降着: 横沢正芳 (茨城大理)  
 A119 銀河環境と球状星団形成: 隈井泰樹, 橋 祐一\*, 藤本光昭 (名大理, \*東北大理)  
 A120 球状星団・dwarf 銀河の形成: 藤本光昭, 隈井泰樹 (名大理)  
 A121 Extended Hot Gas Halo Around Starburst Galaxies: Kohji Tomisaka (Niigata Univ.), Joel N. Bregman (Univ. of Michigan)  
 A122 銀河ダイナモと星形成 (II): 野桜俊也 (北大理)  
 A123 Non-linear Interaction between Magnetic Fields and Spiral Arms (I): 千葉柁司 (東北大理)  
 A124 Weak Bar Galaxy 中の自己重力ガス不安定: 和田桂一, 羽部朝男 (北大理)  
 A125 Lynden-Bell mechanism に関する疑惑: 稲垣省五, 加藤正二, 古屋奈津美 (京大理)  
 A126 3次元無衝突重力多体系のコア・ハロー構造: 阪上雅昭 (福井大教育)  
 A127 無衝突自己重力系の緩和過程: 山城稔暢, 郷田直輝 (京大理), 阪上雅昭 (福井大教育)  
 A128 衝突銀河における Violent Relaxation Process: 船渡陽子, 牧野淳一郎 (東大教養)  
 A129 巨大ブラックホールを持った銀河の合体 (I): 戎崎俊一, 牧野淳一郎, 奥村幸子 (東大教養)  
 A130 巨大ブラックホールを持った銀河の合体 (II): 福重俊幸, 戎崎俊一, 牧野淳一郎 (東大教養)  
 A131 GRAPE-1A による SPH の計算: 梅村雅之 (国立天文台), 福重俊幸, 牧野淳一郎, 戎崎俊一 (東大教養)  
 A132 GRAPE-3 システム用プロセッサチップの開発: 牧野淳一郎, 奥村幸子, 戎崎俊一, 杉本大一郎 (東大教養), 橋本栄利, 富田浩明, 宮川宣明 (富士ゼロックス)  
 A133 重力多体系専用計算機 GRAPE-3: 奥村幸子, 牧野淳一郎, 戎崎俊一, 伊藤智義, 福重俊幸, 杉本大一郎 (東大教養)

## 第4日 5月17日(金) 午後1時より 会場 A

- A134 ビッグバン宇宙モデル II (その宇宙時): 黒河徹次  
 A135 重力レンズ効果はどこまで分かったか?: 渡辺一也, 佐々木 節, 富田憲二 (京大基研宇治)  
 A136 The Density Perturbation in the Chaotic Inflation with Non-minimal Coupling: 牧野伸義, 佐々木 節 (京大基研宇治)  
 A137 真空泡の衝突による重力波: 柴田 大 (京大理), 南部保貞 (東工大理)  
 A138 Topological Defects の進化: 長澤倫康 (東大理), 横山順一 (Fermi Lab.), 佐藤勝彦 (東大理)  
 A139 Broken O(4) モデルによる宇宙壁の形成: 窪谷浩人 (京大理), 石原秀樹 (京大教養), 南部保貞 (東工大理)  
 A140 ドメイン・ウォールによる宇宙大規模構造形成: 石原秀樹 (京大教養), 窪谷浩人 (京大理), 南部保貞 (東工大理)  
 A141 ドメイン・ウォールの運動と大域的構造形成: 山本一博, 富田憲二 (京大基研宇治)  
 A142 Peebles モデルにおける大規模構造の形成: 杉之原立史 (東大理), 須藤 靖 (京大基研宇治)  
 A143 Peculiar Velocity Dispersions and Redshift-space Contamination: 須藤 靖 (京大基研宇治), 横山順一 (Fermi Lab.), 杉之原立史 (東大理)

## 休 憩

- A144 ランダムガウスゆらぎの統計とマーキング: 吉岡 論 (東京商船大)  
 A145 銀河と銀河間物質の大規模構造に対する流体計算: 山下和之, 佐々木 節 (京大理), 杉山 直 (東大理)  
 A146 QSO の吸収線系のイオン化状態と背景 UV 輻射: 傳田紀代美 (東大理), 池内 了 (国立天文台)  
 A147 Interaction between Lyman  $\alpha$  Clouds and Wind from Quasar: 村上 泉 (東大理), 池内 了 (国立天文台)

## 会場 B (安田講堂)

## 第4日 5月17日(金) 午前9時30分より 会場 B

- B120 白田のミリ秒パルサータイミング観測装置: 平尾淳一, 河島信樹, 平林 久, 西村敏充(宇宙研), 仰木一孝, 鈴木孝清(日本通信機KK)
- B121 8m 望遠鏡の光学設計: 成相恭二, 山下泰正, 林 左絵子(国立天文台)
- B122 JNLT の新型ドーム建屋: 安藤裕康, JNLT ワーキンググループ(国立天文台)
- B123 ドームシーリング測定装置の開発: 家 正則, 岡田隆史(国立天文台), 高遠徳尚, 西原英治, 早野 裕(東大理)
- B124 マイクロレンズアレイの測定: 鳥居泰男, 宮下曉彦, 中桐正夫, 安藤裕康, 山下泰正(国立天文台)
- B125 Adaptive Optics System のための大気擾乱調査: 高遠徳尚(東大理), 青木 勉, 谷口義明(東大理木曾)
- B126 焦平面強度分布に基づく波面補正: 馬場直志, 小倉 勉(北大工)
- B127 Blind Deconvolution 法による天体像再生のための初期推定法: 三浦則明, 馬場直志(北大工), 磯部瑠三, 野口本和, 乗本祐慈(国立天文台)
- B128 8000×2000 画素のモザイク CCD カメラの開発: 関口真木, 岩下 光(国立天文台), 土居 守, 柏川伸成, 岡村定矩(東大理)
- B129 モザイク CCD 用プレートの温度一様性のテスト: 岩下 光, 関口真木(国立天文台), 土井 守, 柏川伸成(東大理)
- B130 Test Observation of PtSi IR Camera: First Infrared Image of M31: 笠羽康正, 伊藤昌尚, 上野宗孝, 佐藤修二(国立天文台), 市川 隆(東大理)
- B131 OH 夜光除去赤外線スペクトログラフの開発 I: 岩室史英, 舞原俊憲(京大理), Don Hall, Alan Tokunaga, Len Cowie (Univ. Hawaii; IFA)
- B132 近赤外 OH 夜光スペクトルの高分解能観測: 舞原俊憲, 岩室史英(京大理), 山下卓也(国立天文台), Alan Tokunaga (IfA, UH)
- B133 近赤外イメージング・ファブリペロ: 菅井 肇, 田中培生(東大理), 井上素子(早大理), 高見英樹, 広本宣久(通信総研)
- B134 通総研スベックルカメラの初期観測結果: 片墜宏一, 廣本宣久, 高見英樹, 有賀 規, J. Souchay, 青木哲郎(通信総研), D. Gingras (N.I.O. Canada)
- B135 IRTS 搭載用, 近赤外分光器 (NIRS): 野田 学, 野口邦男, 松浦周二, 松本敏雄(名大理), 村上 浩(宇宙研), 他 IRTS グループ

## 第4日 5月17日(金) 午後1時より 会場 B

- B136 高感度積分型遠赤外線検出器系の開発: 川田光伸, 松原英雄, 松本敏雄(名大理), P. Manskopf, J. Bock, V. Christov, A. Lange (カルフォルニア大バークレー), 廣本宣久(通信総研)
- B137 SOLAR-A 硬X線望遠鏡の開発(IV): 坂尾太郎, 甲斐敬造, 中島 弘, 澤 正樹, 柴崎清登(国立天文台), 牧島一夫, 小杉健郎, 印田美香, 増田 智, 常田佐久(東大理), 小川原嘉明, 村上敏夫, 堂谷忠靖(宇宙研)
- B138 ASTRO-D 搭載用X線反射鏡の表面評価: 津坂佳幸, 国枝秀世(名大理), ほか ASTRO-D ミラーチーム
- B139 ASTRO-D 衛星——撮像型蛍光比例計数管(GIS)の開発——: 香村芳樹, 大橋隆哉, 牧島一夫, 鶴 剛, 石田 学, 三原建弘, 田代 信, 池辺 靖, 上條俊介(東大理), 井上 一(宇宙研)
- B140 次世代薄板多重線望遠X鏡の開発(I): 田原 謙, 栗山富成(名大理)
- B141 高エネルギー・トランジェント天体観測衛星(HETE): 松岡 勝, 河合誠之, 吉田篤正, 山内 誠, 今井 喬, 河野 毅, 米田 晃(理研)
- B142 フレア望遠鏡の平行度測定: 西野洋平, 桜井 隆, 一本 潔(国立天文台)
- B143 ファブリペロー型レーザー干渉計プロトタイプ: 大橋正健, 藤本真克, 山崎利孝, 松田 浩, 久保浩一, 福岡美津広(国立天文台)
- B144 超高速専用計算機複合体による天文シミュレーションと信号処理——TTTPとFARM-SHIP構想: 近田義広, 川口則幸, 森本雅樹, 井上 允, 森田耕一郎(国立天文台野辺山), 観山正見, 池内 了, 梅村雅之, 西村史朗, 唐牛 宏, 市川伸一(国立天文台), 戎崎俊一, 牧野淳一郎, 奥村幸子, 杉本大一郎(東大教養), 野本憲一(東大理), 小林秀行, 平林 久, 西村敏充(宇宙研), 久慈清助, 佐藤克久, 浅利一善(国立天文台水沢)
- B145 公衆回線上の画像伝送システムを組み込んだ天体画像処理: 富田良雄, 大谷 浩(京大理)

## 休 憩

- B146 光学天文観測から求めた ERP の特性: 佐藤イク, 石井 久, 後藤幸夫, 石川利昭(国立天文台水沢)
- B147 極運動は自由章動ではない: 関口直甫(横浜国大教育)
- B148 最新の天文定数の推定値: 福島登志夫(国立天文台)
- B149 春分点補正の時間依存性: 相馬 充(国立天文台)

## 会場 A (山上会館)

- A148 QSO の CO 吸収線探査: 坪井昌人, 中井直正 (国立天文台野辺山)  
 A149 Redshift 空間における密度ゆらぎの分布とパワースペクトルの解析: 郷田直輝 (京大理), 杉山 直 (東大理)  
 A150 Homogeneous Spheroids in the Redshift Space: 渡辺卓也, 稲垣省五 (京大理)  
 A151 宇宙の再加熱と背景輻射: 川崎雅裕 (東北大理), 福来正孝 (京大基研)  
 A152 3K 背景輻射のゆらぎへの Rayleigh 散乱の影響について II: 佐々木 伸, 高原文郎 (都立大理)  
 A153 時間変化する宇宙項に対する 3K 背景輻射の揺らぎからの制限: 杉山 直, 佐藤勝彦 (東大理)  
 A154 宇宙 X 線背景輻射の起源: 寺澤信雄 (理研)  
 A155 高分解能 VLBI 観測による宇宙論パラメータ  $q$  の決定: 川口則幸 (国立天文台野辺山)

## ポスターセッション

- P 1 小惑星 (381) ミルラ (Myrrha) による  $\gamma$  Gem の掩蔽: 佐藤 勲 (海上保安庁水路部), 相馬 充 (国立天文台)  
 P 2 重力崩壊する天体からの電磁波放射: 樋浦 順, 花見仁史 (岩手大人社)  
 P 3 ジェットの渦度について: 近藤正明 (専修大)  
 P 4 食連星 RZ Cas の 3 色測光——福島大 45 cm 鏡による観測——: 鳴沢真也, 近東 昇, 鎌田雅博<sup>1</sup>, 安達則子<sup>2</sup>, 中村泰久 (福島大教育, <sup>1</sup>古川 4 小, <sup>2</sup>五藤光学)  
 P 5 Sun 版 SPIRAL の開発: 浜部 勝 (東大理木曾), 他 IRAF 担当者会  
 P 6 H<sub>2</sub>O メーザ星の光学位置: 鈴木駿策, 吉澤正則, 宮本昌典 (国立天文台)  
 P 7 西はりま天文台の CCD システム: 尾久土正己<sup>1</sup>, 三分一清隆<sup>2</sup>, 定金晃三<sup>3</sup>, 黒田武彦<sup>1</sup>, 佐藤隆夫<sup>1</sup> (<sup>1</sup>兵庫県立西はりま天文台, <sup>2</sup>大阪教育大)  
 P 8 CCD 子午環による 3C 273 の光学位置の直接決定: 吉澤正則, 鈴木駿策, 桑原龍一郎, 石崎秀晴 (国立天文台)  
 P 9 セイファート銀河 NGC 4258 の “anomalous arm” の狭帯域撮像: 西原英治<sup>1</sup>, 菅井 肇<sup>1</sup>, 谷口義明<sup>2</sup>, 土居守<sup>1</sup>, 嶋作一大<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東大理, <sup>2</sup>東大理木曾)  
 P10 電波干渉計の観測データの 3 次元画像処理システムの開発: 土屋 明, 中島潤一, 乙部英一郎, 渡辺直企 (早大理工), 遊馬邦之 (早大教育, 草加高校), 大師堂経明 (早大教育)  
 P11 [C II], CO の比較観測——W43 領域: 芝井 広, 奥田治之, 中川貴雄, 山下由香利, 土井靖生 (宇宙研), 舞原俊憲, 水谷耕平 (京大理), 福井康雄, 小川英夫, 松原英雄, 水野 亮 (名大理), 小林行泰, 長谷川哲夫, 林正彦, 半田利弘, 阪本成一 (東大理), 広本宣久 (通信総研), F. J. Low, 西村徹郎 (アリゾナ大)  
 P12 銀河円盤からの抵抗を受けた回転大質量天体の力学的進化: 安富 允 (名大理)  
 P13 [C II] 158  $\mu$ m 用フィルターの開発: 山下由香利 (東大理), 中川貴雄, 芝井 広, 奥田治之 (宇宙研)  
 P14 周波数スイッチングによる遠赤外分光観測: 中川貴雄, 奥田治之, 芝井 広 (宇宙研), 松原英雄 (名大理), 小林行泰 (東大理), 広本宣久 (通信総研)  
 P15 受信機運搬による GPS 時計比較の評価: 山崎利孝, 福嶋美津広, 松田 浩, 久保浩一 (国立天文台), 堀合幸次, 田村良明 (国立天文台水沢)  
 P16 大阪市街地における宇宙電波の観測: 藤川雅康, 福江 純, 横尾武夫 (大阪教育大), 前田耕一郎 (兵庫医科大)  
 P17 ダークフィラメント中のガスの垂直運動: 久保田 諄 (大阪経大・花山天文台), 北井礼三郎 (飛驒天文台), 當村一朗 (大阪工業高専), 上杉 明 (京大理)

## 会場 B (安田講堂)

- B150 メーザーソースの食を利用した天体の電波位置天文学的観測の可能性: 藤下光身 (国立天文台水沢)  
 B151 星表データの圧縮: 宮坂正大 (東京都府中出納事務所), 古川麒一郎 (女子美術大)  
 B152 光線の曲率による低高度大気差の計算: 田中 済 (東大理)  
 B153 惑星自転の起源: ヒル面を通過する軌道: 谷川清隆, 菊地直吉, 佐藤イク (国立天文台水沢)  
 B154 Error Analysis of Symmetric Integrators for Planetary Orbits: H. Kinoshita, H. Nakai (National Astronomical Observatory)  
 B155 土星衛星の軌道要素改良 (1970 年の衝): 畑中至純 (国立天文台)  
 B156 安定多様体のフラクタル次元: 関口昌由 (東大理), 谷川清隆 (国立天文台)  
 B157 三軸不等楕円銀河中の星の持つ運動の積分: 土屋俊夫, 郷田直輝, 山田良透 (京大理)

## (山上会館)

- P18 MWC 1080 に付随する分子流と分子雲: 吉田重臣 (東大理木曾), 小暮智一 (京大理), 仲野 誠 (大分大教育), 立松健一 (国立天文台野辺山), S. D. Wiramihardja (ボスカ天文台)  
 P19 不規則変光星の模型振動について: 田中靖夫 (茨城大教育), 竹内 峯 (東北大理)  
 P20 A Limit Cycle Induced by  $e^+e^-$  Pairs in Accretion-Disk Coronae: 楠瀬正昭 (NASA/MSFC), 嶺重 慎 (茨城大理)  
 P21 降着円盤の明るさ変化に対する重力レンズ効果: 山田竜也, 福江 純 (大阪教育大)  
 P22 食連星 ES Tau の多色測光: 北爪智啓, 岡崎 彰 (群馬大教育)  
 P23 クェーサーの奥行き分布について: 岡本千勢, 福江 純, 三分一清隆, 横尾武夫 (大阪教育大), 梅村雅之 (国立天文台)  
 P24 銀河磁場と宇宙磁場: 沢 武文 (愛知教育大), 藤本光昭 (名大理)  
 P25 木曾紫外超過銀河のカタログと統計: 高瀬文志郎 (国学院大), 宮内良子 (国立天文台)  
 P26 モザイク CCD 用レーザースケールについて: 沖田喜一, 岩下 光, 関口真木 (国立天文台), 土井 守, 拍川伸成 (東大理)  
 P27 通信総研 1.5 m 望遠鏡の軸較正解析: 大坪俊通, 中嶋浩一 (一橋大), 国森裕生, 高橋富士信, 川合栄治, 今村國康 (通信総研)  
 P28 3 双極子法による太陽風流源面磁場のシュミレーション: 高橋忠利<sup>1</sup>, 斎藤尚生<sup>1</sup>, 大木俊夫<sup>1</sup>, 小塚幸央<sup>1</sup>, 竹内 仁<sup>1</sup>, 荻野竜樹<sup>2</sup> (<sup>1</sup>東北大理, <sup>2</sup>名大 STE 研)  
 P29 惑星双極磁場の傾斜性および偏心性に関するモデル: 赤祖父俊一<sup>1</sup>, 斎藤尚生<sup>2</sup>, 大木俊夫<sup>2</sup>, 小塚幸央<sup>2</sup> (<sup>1</sup>アラスカ大地物研, <sup>2</sup>東北大理)  
 P30 BENNETT 彗星磁気圏と第 3 型太陽磁気圏: 斉藤馨児<sup>1</sup>, 富田弘一郎<sup>2</sup>, 斎藤尚生<sup>3</sup>, 小塚幸央<sup>3</sup>, 南 繁行<sup>4</sup> (<sup>1</sup>法政大, <sup>2</sup>AES, <sup>3</sup>東北大理, <sup>4</sup>大阪市大工)  
 P31 連続速写法によるレビー彗星プラズマテイルの動力学: 沼澤茂美<sup>1</sup>, 小塚幸央<sup>2</sup>, 脇屋奈々代<sup>1</sup>, 斎藤尚生<sup>2</sup> (<sup>1</sup>JPL, <sup>2</sup>東北大理)  
 P32 連結 CCD 法による彗星磁気圏ダイナミクスの新しい観測: 竹内 仁, 斎藤尚生, 小塚幸央 (東北大理), 岡村定矩, 浜部 勝, 青木 勉 (東大理木曾), 南 繁行 (大阪市大工), 磯部秀三 (国立天文台)  
 P33 CRL 34 m 鏡による星間分子線観測: 高羽 浩, 岩田隆浩 (通信総研鹿島), 宮地竹史 (国立天文台野辺山)